

## 第5学年1組 学級活動(3) 指導案

令和2年12月10日(木)第5校時

指導者 教諭 多田 千絵

### 1 題材 「なりたい自分になるために 最高学年への道」

学級活動(3) ア 現在や将来に目標をもって生きる意欲や態度の形成

#### 2 題材について

##### (1) 児童の実態

本学級の児童は、授業中は落ち着いた態度で学習し、人の話を聞こうとする姿勢がある。教師や友達の話も話し手を見て聴くことができている。特に本学級の多くの児童は、様々な背景や困りをもつ仲間に対しても、まず受け入れること、その人の存在を認めようとする気持ちをもっている。

運動会の代替学校行事である「イワキタオリンピック2020」では、6年生と共にイワキタオリンピック係活動や団体演技など活動することで高学年として学校行事を盛り上げるために準備することや当日までの計画を進める大変さと大切さを知り、高学年としての姿を考えるきっかけとなった。

学習発表会の代替行事である「イワキタ学びのフェスティバル」では、イワキタオリンピックの2学年の取組から学年での取組となり、自分たちの手でつくる気持ちをもって取り組んだ。身近な生活と社会とのつながりを考え、SDGsのテーマに自分達が調べたこと・考えたこと・共に取り組んでいきたいことを保護者へ伝えるためにグループに分かれて工夫を凝らした。また各教科においても自分自身の振り返りを大切にしている。

10月には国語科「よりよい学校生活のために」の単元で、岩倉北小学校のみんなが学校生活を送りやすくなるために他学年との関わりをもちたいと考え、「2年生と仲良くなる大作戦」を学級活動(1)に関連付けて企画した。企画の中では、2年生の実態を高学年の視点で考え、喜んでほしい・自分たちも楽しむことができるようにしたいとの思いをもって工夫し、実行することができた。2年生から感謝を伝える手紙をもらい、振り返りでは、「40分のために時間もかけて、大変なこともたくさんあったけれど、2年生が喜んでくれてよかった。」「これからもたくさん遊びたい。声かけをしたい。」と自分の役割としたことのやりがいを強く感じるすることができた。

一方、クラス内での仲の良さは感じられ、安心できる環境で頑張る姿はみられるが、初めてのことに挑戦することや「自分たちがやってやる」という使命感をもって取り組むことを苦手としている。学校生活では、自分からのすすんで挨拶ができていないことをはじめ、小さく固まってしまいがちなのが気になる。本時では、これまで学校行事に取り組んできた中で自分達の役割を果たし、少しずつ自分がやることに自信をつけてきたことから、最高学年へむかってなりたい自分の姿を求め、そのために「今」やってみたいことを意思決定して、実践につなげたい。また、これまで共に学校生活を過ごした仲間だからこそ相談できることや助言できることを話し合い、お互いの「なりたい姿」や「やりたいこと」を共有できるようにしたい。

事前の学習では、4か月後に迫った6年生に進級するにあたって、6年生の1年間を6年生の担任経験のある教諭の話聞き、1年間のイメージができるようにした。そのあと、学習・行事・委員会活動やたてわり活動・人間関係について期待や不安について一人一人の思いを聞くアンケートをとった。その結果、最高学年での学校行事を楽しみにして

いたり、他の地域や色々な人との関わりを楽しみにしていたりするということが分かった。一方で、下級生との関わりや様々な行事を自分たちで計画し、実行していくことを不安に感じている回答もみられた。期待と不安の両面を抱え、最高学年にむかって「なりたい自分」の姿に向き合っているように思う。それぞれが考えている不安を解消し、期待を膨らませるためにこれまでの歩みを生かし、それぞれがイメージする最高学年にむかってなりたいの姿を明確にし、「今」やってみたいことを出せるようにしたい。

## (2) 題材設定の理由

本活動では、5年生として、イワキタオリンピック・イワキタ学びのフェスティバルの2つの学校行事をやり終えた今の自分の成長や強み・弱みをキャリアパスポートやポートフォリオで振り返り、自己理解を深めることから始める。自らの成長を足場としてこれからの自分を見つめる中で期待と不安を抱きながら、最高学年にむかってなりたい自分の姿を前向きに想像し、その姿をクラスで話し合い、お互いを刺激し合って、その姿に近づくための一步を踏み出させたい。そのために、「今」、何をしていきたいのかを考え、意思決定し、実践の一步を踏み出させたい。また、一週間の実践期間の後に振り返りを行い、次のステップに向かわせたい。

「つかむ」では、キャリアパスポートとポートフォリオを活用して自らの成長を確かめた後、事前にとったアンケートの結果を示したのから、学校行事・学習・低学年との関わり・委員会活動やたてわり活動等について最高学年にむけての期待や不安を一人一人が抱えていることが分かるようにする。事前アンケートからその理由を読み取り、成長を足場とすることで、最高学年にむかっている自分の姿を見つめたときに、期待と不安の両方の気持ちが入り混じっていることに気付かせ、その解決への意欲を高めたい。

「さぐる」では、今の自分を足場に最高学年にむかう自分の姿を意識したときに、一人一人が最高学年としての自覚や責任に気づき、なりたい自分に近づこうとすることへの期待と不安の原因をさぐり、その解決をめざしたいという課題意識を高めたい。最高学年にむかう今の自分の姿を追求していきたいとの思いをもつ中で、現在それに直面している6年児童からのメッセージ映像を視聴することで、自分の最高学年の姿のイメージを膨らませたい。6年生のメッセージでは、最高学年としての心構え、逆境に負けず工夫を凝らし学校行事を作り上げた楽しさや、自主学習に楽しんで取り組む様子、下級生との関わりなど今年の6年生ならではの率直な意見を聞くことができるようにする。6年生のメッセージをヒントに自分の少し先の未来の姿を具体的にイメージできるようにしたい。

「見つける」では、最高学年にむかう自分の姿を具体的にイメージし、互いにその姿を伝え合うことで、より広い視野をもって最高学年にむかう「なりたい自分」の姿に向き合わせたい。その上で、残りの5年生での学校生活をどう過ごすかについてもお互いのよさを生かすアドバイスをさせたい。

「決める」では、これまでの自分の成長を振り返り、自分の思う「なりたい最高学年」へのステップとして、「今」やってみたいことを具体的に立てさせることをねらいとする。なりたい最高学年にむかう自分の姿をより具体的にするため、ワークシートに「いつ」「何を」「どのようにするか」を記入する。一人ひとりのなりたい姿に合った取組を考えることができるようにする。また、指導者は、なりたい姿や取組が実態と大きく離れていたり、抽象的になったり、主体性が失われたりしないよう、問い返したり机間巡視したりして、児童に助言を行う。

事後の指導では、最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくために、具体的な目標

を設定し、その目標をかなえるための実践に、まずは1週間取り組むことで、目標を立てて頑張ることの大切さや、達成できたことの喜びを感じたり、改善点を見つけて、冬休みの生活につなげたりと、これからの自分自身につなげたい。また、みんなと一緒に自分ではなく、一人一人の姿を捉え、なりたい姿に向かってやってみたいと決めたことに向かう様子を取組カード等で可視化できるようにし、うまくいなくても考え直し、自分をアップデートしていく経験を共有させたい。最高学年までのこれから4か月が貴重なものであると児童が意識し、1日1日を大切にできるようにさせたい。

### 3 第5学年及び第6学年の評価規準

| 観点   | よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能  | 集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現  | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度   |
|------|---|---|--|
| 評価規準 | 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 | 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。 | 現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。 |

### 4 事前の指導

| 児童の活動  | 指導上の留意点   | ◎目指す児童の姿<br>【観点】＜評価方法＞  |
|--|---|---|
| 学校再開から、2つの学校行事を終えた5年生のこれまでを振り返ったり、次のステップ（6年生）へ向けた期待と不安（ドキドキ感）を想起したりするアンケートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のステップ（最高学年）へ向けたアンケートを用意し、これまでの自分の成長をポートフォリオやキャリアパスポートで振り返った上で、最高学年を意識した期待と不安（ドキドキ感）を前向きに想起できるようにする。</li> <li>・アンケートの中で、近づきたい最高学年の自分の姿をイメージできるようにする。</li> <li>・イワオリノートやイワフェスノート、体育科ノート、キャリアパスポート等を活用し、これまでの自分の成長に気づくようにする。</li> </ul> | ◎アンケートに答えることで、5年生の生活を振り返ったり、最高学年に向けての期待と不安（ドキドキ感）感を抱いたりして、学校生活への見通しをもとうとしている。<br>【主体的態度】〈アンケート〉 |

### 5 本時のねらい

最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくために、これまでの5年生での取組を振り返り、自己の成長に気づき、最高学年としてのなりたい自分の姿を考え、目標を決めて、その目標に向かって今日から取り組みたいことを考える。

6 本時の展開（40分授業）

|  | 児童の活動  | ○指導上の留意  | 資料   | ◎目指す児童の姿<br>【観点】〈評価方法〉 |
|--|--|--|--|------------------------|
| <b>導入</b><br>つかむ(5分)                       | 1 これまでの自分の成長に気づき、最高学年にむけての期待や不安について話し合う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートやポートフォリオをもとに、自分の成長を確かめるようにする。</li> <li>アンケート結果をもとにして、最高学年にむかう期待と不安を、一人一人が抱えていることに気付けるようにする。</li> <li>学級で期待と不安を共有し、互いに前向きな思いをもつことができるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果の表</li> <li>キャリアパスポート</li> <li>ポートフォリオ</li> <li>学校行事の写真(教室)</li> </ul> |                        |
| 最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくために、「今」、自分が実践することを決めよ |  |  |  |                        |
| <b>展開</b><br>さぐる(10分)                      | 2 最高学年になったら、どんなことをがんばっていきたいのかについて話し合う。<br>・学校行事<br>・勉強<br>・下級生との関わり<br><br>3 6年生からのメッセージ映像を見る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの6年生の姿を思い出し、最高学年としての自覚や、責任をもって行動する場面が増えることに気付けるようにする。</li> <li>現6年生のメッセージ映像を用意し、「最高学年としての心構え」や「学校行事」「自主学習」「下級生との関わり」について語ってもらうことで、メッセージをヒントに、今の自分を見つめて、次のステップ（最高学年）のイメージもち、「今」やってみたいことへの思いを高めることができるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生からのメッセージ映像</li> </ul>  |                        |

|   |  |   |               |  |
|---|--|---|---------------|--|
| <p style="text-align: center;">展開<br/>見つける(15分)</p> | <p>4 最高学年にむかって「なりたい自分」の姿やそのために「今」やってみたいことについて話し合う。</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最高学年にむかって「なりたい自分」について語り、これまでともに学校生活を過ごした仲間だからこそ聞いてほしいこと、助言できることを話し合い、お互いの「なりたい自分」と「やりたいこと」を共感・共有できるようにする。</li> <li>・交流が目的とならないようにし、語り合うことで、「なりたい自分」の視野を広げ自分のこれからを自分自身で「見つける」ことができるようにする。</li> </ul>                           | <p>ワークシート</p> | <p>◎最高学年にむかって「なりたい自分」の姿を明確にし、その姿に近づくために、「今」やってみたいことについて考え、前向きに話し合っている。</p> <p>◎お互いの思いを聞き合い、アドバイスをしている。<br/>【思考・判断・表現】<br/>〈話し合い〉</p> |
| <p style="text-align: center;">終末<br/>決める(10分)</p>  | <p>5 グループで話し合ったことをもとに、最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくために「今」始めたい実践を決める。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくための取組を考えることができるよう、机間巡視をし、助言をする。</li> <li>・「今」を大切にするため、事後の指導の取組期間を1週間として、その後に振り返りを行い冬休みと三学期につなげる。</li> <li>・意思決定の具体(「今、実践すること」)が見えにくい場合は、授業後に個別のキャリアカウンセリングを行い、目的(なりたい自分)に応じた取組なるよう助言にする。</li> </ul> | <p>ワークシート</p> | <p>◎話し合ったことを生かして、「今」自分が実践することを意思決定している。<br/>【思考・判断・表現】<br/>〈観察・学習カード〉</p>  |

| 児童の活動   | 指導上の留意点   | ◎目指す児童の姿<br>【観点】＜評価方法＞  |
|---|---|---|
| 意思決定した「今」を意識して、期間を限定（1週間）して実践する。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>•教室に一人一人の「今」を掲示するなどして、実践への意欲付けとなるようにする。</li> <li>•実践が簡単すぎたり、継続困難であったりする場合は、途中で目標の変更も促す。</li> </ul> | ◎意思決定したことを前向きに実践している。<br>【思考・判断・表現】<br>＜観察＞   |
| やってみて、自分のよかった点と改善したい点について振り返り、今後の取組について再度考えさせる。 | 取組をポートフォリオに記録して、これからの自分を見つめる材料とする。  | ◎実践を振り返り、最高学年にむかって「なりたい自分」に近づこうとしている自分の現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。<br>【主体的態度】＜ワークシート＞ |

## 8 板書計画

なりたい自分になるために 最高学年への道

**めあて** 最高学年にむかって「なりたい自分」に近づくために、「今」、自分が実践することを決めよう

| つかむ  | さぐる                                       | 見つける  | 決める   |
|--|---|---|---|
| アンケートの結果<br><br><br><br><br><br><br>気づいたこと | 最高学年とは<br><br><br><br><br><br>6年生からのメッセージ | 最高学年にむかって「なりたい自分」になるために<br><br><br>どんな姿<br><br>そのために<br><br>アドバイス | 今、やってみよう<br><br><br>「いつ」<br>「何を」<br>「どのように」 |



